

平成28年度案件「ベンゲラ総合病院白内障手術器導入計画」

実施団体：ベンゲラ総合病院眼科センター

供与額：101,000米ドル

平成29年（2017年）10月16日、平成28年度草の根・人間の安全保障無償資金協力による「ベンゲラ総合病院白内障手術器導入計画」の供与式がベンゲラ総合病院眼科センターにて行われました。同供与式には、澤田駐アンゴラ日本国大使、ロート製薬（株）エマージング市場開発部長の畠山薫氏、ベンゲラ州副知事のジラ・モライス氏、同眼科センター長のルイス・バランダ氏等が出席しました。本プロジェクトにより、同センターへ日本製の高品質な白内障手術器を導入したことで、一日当たり約100名の白内障患者に手術を施すことが可能になるとともに、ベンゲラ州のみならず、アンゴラの南部地域における医療サービスの向上が図られることによる同地域の社会発展への貢献も期待されます。



プロジェクト記念プレートと澤田大使(右)



出席者一同による記念撮影